

日本大学第三学園生徒支援会レター



【第34号】



令和3年3月発行
生徒支援会PR委員会

ご卒業 おめでとうございます

令和二年度を振り返ると、「部活動が思い通りにならなかった」「仲間との旅行やイベントが制限された」と、やり残した思いが残る一年だったかもしれません。一方で、日々のニュースを通して、様々な職種で頑張っている人々の姿、厳しい状況下で踏ん張っている人々の姿を目にする機会が増えました。本来であれば、瞬く間に過ぎていく学生生活の途中で、立ち止まり考える時間、自分を見つめなおす時間が増えたこの一年は、きっと皆さんを大きく成長させてくれたことと思います。あるコマーションャルの一節に「見えないものと闘った一年は、見えないものに支えられた一年だと思う」という言葉がありました。皆さんを支えてくれたものは何だったのでしょうか。この混乱を耐え抜き、負けずに前に進んだ共通の思いは強い絆となることでしょうか。「支えてくれたもの」を決して忘れることなく、三中、三高を卒業し、新しいステージに向かっていく皆さんに、心からエールを贈ります。保護者の皆様、長い間支援会活動にご協力を賜り、誠にありがとうございました。卒業生の皆様のご活躍、保護者の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

生徒支援会会長 山下由季

中学卒業記念品



中学3年学年委員会では、卒業記念品製作の活動を行いました。

幹事全員が日常生活で使用できるものは何か、意見やアイデアを出し合い、記念品を選定しました。2020年の激動の一年間を日大三中生として逞しく成長した子供達に、高校でも大きく羽ばたいてほしいという熱い思いを込めて、ロゴをデザインしています。笑顔と希望溢れる高校生活の中で青春を謳歌しながら、新しい未来へ向かって羽ばたいてください。皆様のご活躍をこれからも応援しております。

中学3年学年委員会
委員長 大山口弥紀江

今年度は新型コロナウイルスによる影響も考え、例年の生花によるコサージュに変わり、アートフラワーによるコサージュを贈らせていただくことにいたしました。メインのお花として選んだ青いバラは今年の卒業生の学年カラー、そしてブルーローズの花言葉は「奇跡」「夢叶う」。奇跡的に出逢い高校3年間をともに過ごしたブルーファミリーとの思い出を胸に、未来の夢に向かって大きく羽ばたいてくれることを願っています。



高校3年学年委員会
委員長 江原真紀子



高校卒業記念品 コサージュ